# 磐城新聞

（七日夕刊）

休刊　大祭日の翌日　第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料　二行平錢指定廿錢増
發行兼編輯印刷人　逆沼能輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話九八四番


## 採め通すトンネル 今度縣で改修
### そして半分は茨城から 平監督所で着工

石城郡勿來町より隣縣多賀郡平潟町へ通ずる縣地の國道トンネルは茨城福島の二縣管理に屬してゐる爲改修工事も二縣分擔の上行つ、來たがそれ等の關係で管理は自然放任に陷る傾向あるのでしば〳〵問題にされてゐたところ最近又々右トンネル、崩潰箇所改修問題で平土木監督所、隣縣大津土木監督所間紛糾が起り側杖を喰つた通行人のみが舊臘中より少からず迷惑を蒙して居る九面トンネルの改修工事は兩縣の豫算が常に異なつてゐる以上合理的起工を見ることはちよつと困難であるとの輿論も相當あるので今後は茨城縣か本縣かの何れにか移管されるものと豫定されてゐる右につき平土木監督所では語る

九面隧道は茨城と本縣の二縣共同管理に屬してゐるため屡々問題が起つてゐたが本年度から主に福島縣が工事を行ひ費用の半分を茨城縣より請求することに決定し取敢ず四年度に一萬二千圓を投じ本縣事業として今度崩潰個所を修理することに決定したから今後問題は起らぬと思ふ云々

## 郡山營業課長に 武田氏榮轉

東部電力平營業所長武田精一氏は今回郡山支社營業課長に榮轉し來る十六日午前九時平發にて赴任する事となつたが同氏は郡山電氣平支店長より東部電に合併後引續き所長として在任八ケ年の長きに亘りよく熱心に業務を鞅掌し各種の問題に當面しては犧牲を拂つて盡力する所あり好評を博した人である、而して武田氏は時節柄送別會の招宴を遠慮しハガキを以て訣別の挨拶に代へると、後任所長は東京本社詰めたりし永倉消次郎氏にして十三日來任の筈

## 米買上に 幹旋
### 石城郡農會で

米價回復の政府に於て愈々米の買上げを行ふ事となり縣農會から石城郡農會に對し販賣幹旋方依賴して來たので同郡農會では去る四日郡下各町村農會に對しこの旨通告をなす處あつたが舊正月を控へ米價安に見舞はれて居た農家はこれに依つて幾分愁眉を開くことが出來るものと見られ農家の舊正月は多少好景氣を呈するものと豫想されて居る

## 平地方の米價
### 出廻り至つて鈍く 猶は上向見込薄

石城郡地方の昨今の米價は昨年末より下落に下落の歩調を辿り各農家は何れも藏出しの手控ひをしてゐる爲め出廻り非常に少く爲めに活氣ある商況は殆ど見られない姿狀にある。而して今後に於ける米は中央正米及び期米の影響を受けることゝ案外に尠く概は地許在米の多寡又は出廻りの有無によつて相場は左右せられるが各問屋とも買馴十圓五六十錢どころのものを可成りに背負込んで居る結果目下のところ買氣極めて薄く何れも背負込ものゝ處分に腐心して居り、それに中央市場も華々しくないため茲許一寸高値の出現は望まれないやうに見られるが問屋側としては何れも强氣で舊十二月早々から乙米十一圓程度に跳上がるものと見込んで居り同時にまた相當の取引あるものと豫想してゐる因に昨今の小賣相場は四斗俵左の通り

△並白十一圓より十一圓廿錢 △上白十一圓五十錢より十一圓七十錢 △上々白十一圓九十錢より十二圓十錢

## 町村長會
### 終つて新年宴 石城郡支會

石城郡町村長會議石城支會春季總會十一日午前九時半より元石城郡會議室に開催四年度豫算並に支會事業について協議し終つて午後五時から谷口樓に新年宴會を催すと

## 石城財界好轉
### 漸次順調の氣配あり 四五月頃が有望

石城郡内財界は歲末に際して非常に憂慮されたが豫想された程の混亂もなく新春を迎へたと同時に漸く財界の安定を示して來た、從つて此のまゝ順調な進展を見るに於ては常磐炭界の復活と同時に今春四、五月頃までには相當好轉するものと見られて居る

## 新年撞球會
### 六日スズランで

中町南町スズラン撞球場主催新年賀祝撞球大會は既報の如く昨六日午前十時から同場に於いて開催野木君三百點、鯨岡、綠川百五十點岡田百廿點、高木、佐々木田村百點等の高點者を初め地方愛球家五十餘名出席稀れに見る大接戰の中に午後十時閉會したが一等賞（五十圓商品券）は佐藤岩藏君（四十點）同二等賞（三十圓券）は鈴木武雄君（五十點）の手に歸した尙當日の一般勤者は鯨岡白五十點、佐々木、田村百點、北郷六十點、小川五十點の五名で入賞三等以下は古澤（六十點）花澤（三十五）松本（四十）鬼澤（八十點）岡田百廿點、小川五十點、久保田（三五）猪股（六十點）以上である

## 傳染病 死者五十五名
### 平署去年の

一時に百人近くの腸チフス患者を出した石城地方の昭和三年は全く文字通りの厄年に襲はれたが平署で調査した三年度の管内の厄病は腸チフスの二百七十七人を筆頭にジフテリヤの八十九人天然痘十五人疫痢十一人その他二十八人で合計四百三十人を數へたがそのうち死亡した者は五十五人で死亡の筆頭は腸チフスの卅八人次がジフテリヤ十一人疫痢七人その他七人であると

## 讀者欄

### 元旦勝手問答
阿呆太郎生

一年は一月元旦から始まる、その元旦に妙な問答がはじまつた、勿論私の方は在方で新暦では正月をやらないから年始に來たのでない、別段用事も無いが通りがゝりに寄つて見たといふのでヒヨツコリ叔父が這入つて來た、さうして色々の話の揚げ句息子の嫁の話になつた。

××も今年は二十四になるそちらこちらから緣談は持ちあがつてゐるが適當なのがない偶々こちらでよいと思ふとあちらから外れたりして遂に纏まらないといふ、で前もツッチコッチ歩いてゐるのだから恰度したのがあつたら見付けて吳れといふ。

恰度したのがあつたら見付けて吳れには聊か吃驚させられた、そこで私はその嫁は一体誰が貰ふのだ、叔父が貰ふのか××が貰ふのかと尋ねて見たら叔父もこれには魂消た樣子だつたが××の嫁だと即座に答へる

それから私は次の樣な事を言つてやつたら叔父はヒドク憤慨した樣子で歸つて行つた、私はかう云つた××の嫁なら××に探させたらよいだらう嫁を品物の賣買と同樣に考へてゐることが既に誤つてゐる息子の嫁は息子のものだ親達のための嫁ではない假りに親達が探してやつた嫁が息子の氣に入らなかつたら親達が一切の責任を負ふかといつたら何を世迷言を並べてゐるのだといふ顔付きて濟まして居た

狐の嫁入りといふことがあるが少くも兵人間と人間の結合に親達が嘘八百の仲人といふ人間賣買の周旋屋の言を信じて品物同樣に片付けるのは危險千萬なことだ、それにしても當事者達も又親達の自由な選擇に任せて一向不思議に見はないのは長い間の傳統や因襲に囚はれて居る結果でもあらうがそれを當り前の如く考へて居るに至つては意氣地がないと言はうか無自覺と言はうか實に情ない限りだ

これだから女房を單に髷に結つた女中だと考へ女房も又髷に結つた女中で居ることが貞淑なんだと考へて居るに至つては悲しまざるを得ない。

誤られた道德はこれからはじまる。

### 明日の吉凶

舊曆 十一月二十八日　新曆 一月八日

▲一白　人に知れざる苦しみの潜み居る日進むには凶▲二黑　何事も捗りのあしき遲滯勝ちの注意日たり▲三碧　午前中物事手控すれば午後は吉たるべし▲四綠々と吉運には向へども油斷の出來ざる日▲五黃　あせりてもその甲斐薄し冗費失ひ物注意すべし▲六白　好機來の吉日にて何事にあれ進むの勝利▲七赤　十分に手腕を揮ひ小得らるゝ幸運の一日たり▲八白　龜裂なりとも決して油斷すべからざる日▲九紫　和合さへ注意すれば無二の吉日となるべし

## 講談 幕末秘帖 狂戀亂心 (127)
渡邊默禪作　宮野歌春畫

次に仲人の吉藏といふのが病死した爲め同道せなんたといふ木村の口上も、あやしむべき價がある、併し之を反對に考へて見ると相場を知らぬ身でうつかり手を出したから失敗つたので當時狐を馬に乘せたやうな野幇間や賣女なども大勢四邊を取捲いてゐた、そんな手あいにけしかけられて夢我夢中に盲相場をやつたも知らぬ、又た大阪は商業熱の高い土地柄、武士だと云つて高楊枝ではゐぬ、儲かることなら兩刀を投出して見得もなく町人に向ふを張る者が、強ち無いとは限らぬ、それに勘太郎とは一面識がないにもせよ、藤屋は江戸三界に聞へた富豪、大阪までも響いてゐるかと思ふと嬉しい、その藤屋の名を信用して融通したとある或はそうかも知れぬ吉藏も病死に相違あるまい、一度は死ぬのが人の命だ、第一彼の證文は勘太郎の筆蹟に紛れない、本人は俺の手に似せて書いたものだと否認するけれども、それにしても餘りによく似てゐるいかな御祐筆でも彼箇は巧くにせられるものではない、論は崖盆、爭ふことのできぬのは印形だ、正しく自分の實印であるからは、何者か盜用したに定つてゐる、然らば誰が盜んだ、家には勘太郎より外にそんな大それた行爲をする者がない。

勸兵衞は斯く判斷して、以ての外と立腹、伜を一間に押籠めて外出を禁じ、嚴重に究命を加へて置いて傍ら其の處分策を講じた。

此處が藤屋の參謀官富松君の智慧を借らねばならぬ所である、君は直に大將閣下の御前に呼出された。斯くして、萬夫人の立會の秘密會議、半日かゝりで稍と方針が決した

恰も三日目の夕景、お萬は命令に依つて勘太郎に刑の執行をなすべく奥の間に呼出した、襖の蔭から勸兵衞が聽てゐる

「勘太郎さん、定めし御究屈なことでせうねえ」

と打しほれ聲でその顔をじつと眺めながら

「ほんとにお察しますよ、私もね、何とかして穩かに濟ませたいものだと種々に氣をもんで爺さまにたゞりなしもして見たのでございますか、何分にもきつい御腹立で私の力ぢやア辿も御詫を叶へさせて上る譯にいかなくなりました、困りましたねえ」

と喫んでゐた煙管を投出す下からぐつたりと懸いての太息。

「飛んだ御心配を懸けまして相濟みません」

と勘太郎は首を下げて

「九つ切覺えのないことでございますから、寧そのこと彼の木材といふ武家を私ぐるみ一緒に大奉行へ突出てくださりやア宜しうございます、私は蛇と白い黑いの筋目をつけて身の證を立てやるんでございますがな、れ爺さまは一體どうなさる思召で?」

と熱心な態度、その眼は殘るいかりに燃ゑて怪しう手が戰く。

「いゝえ其事も申し上げない譯ではありませんが、是を公然にした日には暗黑の址をさらけ出すやうなもんで藤屋の暖簾にきづがつくから、マア〳〵當り障りなくそのお金を出さずに濟むやうな工夫がよからうと被仰います」

## 三益玉炭のお奬め

三井物產會社ガ多年ノ研究ノ結果專賣特許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス

□無煙無臭デ、火付ガ早ク火持チ良ク、火力ガ強ク日常ノにやきニハコンナ便利ナ品ハアリマセン
□ソレデ値段ハ大變お安ク木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス
□ドンナニ喰はずぎらいノ人でも一度使へバ必ズ御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス

値段ハ壹箱金貳圓
個數ハ約八百個內外

御申越次第見本ヲ持參シテ御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ

平驛前　阿部石炭商店　電話二三七番

夜間診療

胃腸　內科　十二指腸虫病　專門　內科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部

平南町　電話一七〇

## 移轉披露

ライト寫眞館

業務擴張の爲め左記の場所に移轉し理想の寫場が完成いたしました引續き御愛顧を願上ます

平町才槌小路　魁文堂東隣り　ライト寫眞館　電話八四七番

## 開業廣告

開業記念として特に三割引撮影

團体寫眞は特に御相談に應じます

平町田町（赤心堂病院隣）　元ライト寫眞館跡　大野寫眞館

## 改正 片濱乘合自動車時間表

| 平發 | 江名發 |
|---|---|
| 五時三十分 | 五時三十分 |
| 六時三十分 | 七時 |
| 八時 | 七時五十分 |
| 九時 | 九時二十分 |
| 十時 | 十時三十分 |
| 十一時 | 十一時五十分 |
| 十二時三十分 | 一時 |
| 一時五十分 | 二時 |
| 三時 | 三時三十分 |
| 四時 | 四時四十分 |
| 五時二十分 | 五時四十分 |
| 六時三十分 | 六時四十分 |

平のりば　四丁目和泉屋前　新川町車庫
江名のりば　沖見屋　電話十四番　松屋

鈴木片濱自動車部　電話二一七　車庫呼出電話一四二

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院　電話三〇九

## 營業種目

內地材　材木各種、羽柄材各種　建築諸材請負　礦山用坑木其他諸材請負
外材部　米松、米杉、大角製材調達　其他請負

(百) 佐藤材木店　常磐線平町新川町　電話三三五番

平町田町
## 高久病院
電話五一三番

醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽淸
藥劑士 佐竹菊雄

內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科、

診察無料

如何なる重患でも直ちに癒る三丁目の大谷へ御出下さい

院長博士敬白

大谷時計病院　電話一九番

## 本郡下稲作減收の被害對策協議
### 縣當局と共力して郡農會熱心考究

石城郡地方は昨春田植時から稲刈入時に至るまで未曾有の悪天候續きで農村の疲弊は其の極に達し遂に稲作の大減收を見た事既報の如くであるが其の後縣當局には石城郡農會と共に郡下稲作の減收地に對し精細な調査を進めた結果本郡下に於いて七割以上の大減收を見たものは田八、荷路夫、石住、貝泊組合村の四十九町歩、澤渡、三阪組合村の二百九十九町歩、永戸箕輪組合村の三十五町歩、川前村の百二十七町歩合計六百十一町歩に達して居る事判明此の被害實狀から見て之れが救濟對策は刻下の急務であるとし縣當局各課では八方奔走中であるが先ず此が第一着手として來る十五日澤渡村を振出しに前記被害農村全部に亘り救濟對策の協議會を開き縣提案の左記救濟案に對する協議をする事と決定した縣の救濟案は大体次の如きものである

一、木炭材として國有林野の拂下斡旋（山林課）
二、町村費及縣費補助の各種土木工事の勞銀率引上げ（土木課）
三、製紙原料桑條剝皮及其の他農村の副業奬勵（農務課）
四、食料品の購入斡旋（商工課）外十數項　以上

向此の協議案にもとづいて被害各村を救濟すべく縣當局も頗る力瘤を入れてゐる相當實績があがるものと各方面から注目されてゐる

## 毒饅頭を食はせ内郷の無理情死
### 酌婦は辛らくも助り福太郎遂に絶命

石城郡内郷村綴驛前旅人宿内郷館止宿鐵道省臨時雇傭工茨城縣多賀郡平潟町山田福太郎（三三）は四日午後二時頃同字の飲食店羽賀つま方へ登樓伊達郡茂庭村生れの同家抱酌婦渡邊梅代（二八）を敵娼に遊興中福太郎が突然懐中からまんぢうを取り出し半分を梅代にすゝめ殘りを自分が食したが梅代はまんぢうより臭氣が發散するを怪しみ吐き出したところ福太郎はこれを見て矢庭に隠した手拭で梅代を絞殺せんとしたの、梅代は頑強に抵抗中福太郎が吐瀉し始めて手をゆるめたので辛うじて虎口をのがれたが福太郎は午後九時頃遂に絶命し、急報により平署から係官急行取調べたところ無理心中をはかる目的　猫イラズを入れたまんぢうを持參して登樓し目的通り梅代に食しなかつた場合は梅代を絞殺して自分も自殺するつもりであつたらしいとなは福太郎は羽賀方に二三回登樓しただけで梅代を敵娼にしたのはその日が始めてゞ遺書等は發見されなかつた

## 徳利で額を割らる
### 年始客の喧嘩

石城郡大野村居住磐城炭礦平發電所倉庫詰佐藤清（三二）は四日午後八時頃平町鎌田町川野松之助方に年賀の歸り禮にゆき同家で飲酒上居合せた同町木村利松（三五）と口論を始め一升德利で同人を毆打せんとして誤つて主人松之助の前額部を割全治三週間の傷を負はしたので川村は五日平署に同人を相手取傷害の告訴をなした

## 添はれぬ縁を嘆き藝妓と心中未遂
### 平から中村に行つて殺鼠劑を嚥下す

平町字胡摩澤吉田一二（二四）（假名）は去る一日午後八時頃相馬郡中村町某料理店に於いて同町袋町三業抱藝妓小米事平町字南町生れ佐々木クノル（二三）と猫イラズを嚥下して合意の心中を計つたが死に切れず苦悶してゐるのを女中が發見驚ろいて同町横山醫師を招き應急手當を加へた結果幸兩人共一命は取り止めたが心中の原因は小米は元平町新田町竹廼家から竹千代と名乘つて出てゐるうち前記一二と言ひ交はしたもので添ふに添はれぬ仲を嘆いて心中を計つたものであるらしい

## 山田農產品評

石城郡山田村では同村小學校に於て農產品評會を本月五日より三日間開會すべく目下準備中である

## 優良看護婦
### 平町役場で表彰

平町では平看護婦會所屬看護婦左記四名を町立傳染病院勤務中よく忠實に病人を看護したといふので表彰する事に決定近く表彰式を催す由なほ石城郡小川村では同會の看護婦鈴木とよを同じく表彰すると

▲高崎とめ、佐藤みな、長谷川ふくよ、四栗もよ

## 乞食の行倒
### 或は厭世自殺

石城郡内郷村磐城炭坑中畑坑入道入口附近に去る四日午後四時頃年齡四十歲位の乞食体の男が變死してゐるのを通行人が發見平署に屆け出たので同署から係官急行取調べたところこの者は宮城縣志田郡高食村生れ當時內郷村白水居住の高橋彥三郎（四四）で昨年一月ころから腎臟病のため體の自由を失ひ附近に住む人々の惠みに辛うじて生活してゐたが全快の見込なき厭世自殺をはかつたものと判明した

## 金のない奴の顏を見たい無錢大盡
### 鱈服飲んで便所から逃走直ちに就縛

湯本町大字三函飲食店小林亭事飯田ナツ方に去る四日午後六時頃登樓した一見職人体三十才前後の男が「うまい儲け口があつてしこたま金は持つてるんだ錢や金に不自由してる奴等の面が見たい」と大風呂敷をひろげ蛇が蛙を呑んだやうに膨れた財布を叩いてゐるので正月早々福の神が舞込んだと同家では一枚看板の酌婦佐藤キク（二三）を付け切りに付添はせ酒よ肴よと大盡遊びをさせて置いたが程經て便所に立つた件の大盡客は便所に入つたまゝ何時になつてもとどつて來ないので不審に思ひ便所を尋ねた處ろ小窓を破つて何時の間にかドロンを極めた事を發見大いした鴨と喜こんだのも束の間今更の樣に呆れかへつて駐在所に訴へ出たが五日午前八時頃湯本驛前を徘徊してゐる擧動不審な男があるのを同町駐在赤津巡査が發見本署に引致の上嚴重取調た處ろ此奴は當時住所不定無職岩手縣岩手郡瀧澤村生れ長内好松（三二）で前記只飲み大盡である事判明目下平署で餘罪取調中

## 連夜の如く襲ふ平地方の暴風
### 好間村では屋根飛ばされ各地に被害相當

石城郡地方は去る二日夜から平町地方一帶に襲つた暴風は三日午前二時頃に至り猛烈な吹雪と化し各所に被害があり六日夜の如きも相當被害あつたが殊に好間村愛宕煉瓦工場の屋根五十坪が吹き飛ばされ電話線が切斷された損害約五千圓

## 金解禁に就て（下）
平町　山田勇生

（四）金解禁は如何なる影響を財界に及ぼすか

金解禁は勿論經濟界の常道に復するものではあるが十幾年間不自然狀態に置かれたものを急に常態に復するのであるからその過渡期に於て多少の財界の動搖は豫期せねばなるまい先づ

第一に考へねばならぬは今日まで人爲的に堰止められてゐた正貨の流出であるこれは如何程かといふに大体一億五千萬から二億圓位だらうといふ專門家の觀測してゐるこれによつて我國の金融は引き締まるであらう

第二には物價の下落である、下落といつてもつまり物價の國際的平準化である前にも述べた通り爲替相場の關係から日本の物價は甚だ高いものになつてゐる

日英米三國の物價と比較して見るに日本の物價は英米よりも高い昭和三年九月の指數は日本の一八一、八に對して米國は一五三、四英國は一四八、六であるこれは大正三年七月を一〇〇として算出した割合だから日本の物價は戰前よりも八割二分八厘高なるに反し米は五割三分四厘英は四割八分六厘高といふ低率である

即ちこれに金禁輸のため日本の物價は下落すべき極點まで下落せずに居るのであるが、かくして金融の引き締りと物價の下落とは今日の經濟狀態をしてより以上の

不景氣を招致するものと考へねばならぬ、ために株式の暴落もあるだらう事業會社の倒產も續出するであらう、とにかく徹底的に不景氣のどん底に一時行きつくであらう、金禁輸によつて不自然狀態に育ぐまれた經濟組織はかくして根本的に改造されねばならぬ、而して次に來るものは

財界の常道に絶つた根底からの建設であらう、こゝに其の財界の發達をそして眞の景氣が芽まれて來るであらう、かくて一陽來復を迎ふるには少なくも一期と半期は待たねばなるまい

今日まで解禁をなし得なかつた原因はこの

一時的不景氣の襲來を恐れたからである、然かし今日金解禁を一日延ばすことは眞の財界の恢復を一日だけ延ばす事であり又財界の狀態に稍準備が出來たのであるから此の際解禁を斷行するは尤も時宜を得たものであらう、さて前說に金解禁が地方財界に及ぼす影響を考へて見やうか一時的不景氣は地方にも可成根強く襲來するものと考へねばならぬ、殊に當地方財界の原泉をなす

石炭業に及ぼす影響は可成大きいものではあるまいか、近年產業界が不振を極めてゐるために採炭制限を行つて辛じて需要供給が調節されてゐるのである、これが金解禁となれば輸入無の値下りによつて內地一般の炭價も下落を來たし一方炭業界、不振によつて石炭の需要は一層減退するであらうから炭界は既存以上の不況に襲はれるのではないか、石炭業を基調としてゐる當地大部分の商取引諸營業はために蒙る打擊といふものは餘程考慮すべきものではなからうか、

その他の營業事業も可成の打擊を受ける事を覺悟せねばなるまい、然かしそれは前述の通り一時的の現象である、延びんとするものは先縮まねばならぬ吾人はこの一時的の苦難は百年の大計の爲めには甘じて受けねばなるまい。

## 地下採掘の反對陳情
### 委員本日出仙

石城郡內郷村磐城炭坑株式會社より出願中の平町地下三千尺餘の地點にある石炭採掘願については平町では極力之に反對し豫てより當局に不許可の動中であつたが更に今回猛運動を起すことゝなり町議佐々木龍若氏は七日午前六時十分平發列車にて出仙臺山監督局へ出頭不許可の陳情をすることになつた

## 接客業注意
### 猪狩署長訓示

平署では六日午前十時より市内接客業者並に營業者を同署樓上に招集し猪狩署長の訓示があつた

## 植田町長辭任
### 後任者選衡協議

石城郡植田町長佐川龜太郎氏は十二月二十九日病軀の爲め辭表を提出し五日後任町長に關して町會議員の協議會を開催した

## 大和田氏の銅像
### 磐城佑賢同窓會が萬場一致で可決

平町磐城祐賢學舍同窓會は去る二日同舍内に開催されたが折柄の烈風にもかゝはらず來會者百餘名あり樫村清外十名の建議に係る石城郡教育界の功勞者たる前舍長大和田豐吉氏の銅像を同氏還曆祝として學舍庭內に建設する件を附議し滿場一致可決しその實現を期する事となり委員十名を選ん具体案を協議すべく來る二十日午前十時より母校內に會合する事となつた、委員左の如し

高木長平、根本喜代一、樫村清、高崎竹造、黑木喜一、阿部每吉、大和田祐之、藤田重男、箱崎秀學、水野谷憲太郎

## ホロ醉氣嫌で軌道と衝突
### 市松頭に重傷

石城郡湯本町吹谷居住鈴木市松（五三）は五日午後五時頃玉川村の親類から馳走になりホロ醉氣嫌で玉川村地內の磐城軌道線路附近を徘徊中折柄進行して來たつた軌道に跳飛され頭部其の他に重傷を負つた

## 子鍬倉神社で豆撒會
### 福和內會で

平町福和內會では來る二月三日節分當日例年通り縣社子鍬倉神社々前に於いて恒例の豆撒會を準備中の筈であるが會費は金三十錢だとさ

## 自轉車鑑札
### 平署で支附

平警察署では町役場當局の懇援を受け平町四丁目郵便局新築地に於て昨六日より八日間改正された自轉車鑑札の交付をなすが應ぜざる者に對しては縣令に依つて片つ端しから處罰すると

## 水道栓に綿入衣
### 何としても水が通らず平町昨今の寒さ

平地方は最近々年にない嚴寒のため屋外の水道栓はこと〴〵くこうりつきそれがため共同栓を利用する各家庭では非常な脅威を感じてゐる毎朝午前十時ころにならねば水が通らぬといふので平町水道課でも非常に狼狽し假に水道栓へ綿入を着せるやら藁帽子をかぶせるやら大騷ぎを演じてゐるかゝる現象は近來稀なことゝ水道課員はこぼしてゐる

## 平の寒稽古

平署演武場に於ける寒稽古は來る十三日より十日間毎日午後七時より九時まで執行の筈で多數來場を歡迎すると

## 癲癇持ち井戸に轉落
### 直ちに御陀佛

江名町南町漁夫寅吉長男戶田傳吉（二八）は五日午前自宅裏手の井戶に水汲みに行き井戶の中に顚落溺死原因は同人は性來の癲癇持ちで當日も持病が起つて顚落したものと判明

## 平校新築委員會
### 敷地買收決定

平町第三小學校新築委員會は來る十日頃平町役場に於て開催校舍敷地買收の件を附議する筈であるが買收費は坪三圓平均に買收總額は約一萬三千圓位に見積られて居りこれが買收決定と同時に着工する由である

## 舊師謝恩會
### きのふ扇屋に

庚申倶樂部主催平町加納十郎、小野金太郎兩師の謝恩會は大塚保、大橋才次郎、小野寬美、遠藤心光、山崎德兵郎、松本金次郎、福尾伊太郎、鹽義助の諸氏發起し六日午後三時より平町扇屋に開催し出席二十數名非常な盛會を極めた

## 一日一人
### 漆畑元吉氏

罪のない惡口と寸鐵式の警句に妙を得てゐる辯護士漆畑元吉先生は平銀行が常盤との合併を理由に休業を發表するや、合併必ず疑ひなしと言明した其の理由に曰く、平の清盛は遂ひに常盤御前を口說き落した歷史が雄辯に物語つてゐるぢやないか、平消防小頭の高野得助君が此漆畑先生を捉へ「法曹畑の先生を漆畑とは之れ如何、」と一矢を向けるや、先生透かさず「損をしてさい得助と云ふが如し」だと

評判ノよい專門藥
●心臟圓●　一圓　二圓　三圓
平五　山野邊藥局

內科
小兒科　其他一般（入院隨時）
前田醫院
植田町本町（電話一二四番）
（看護婦見習優遇募集）
前田清美

池ノ坊流
生花教授
生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの

主婦之友三秀會製品
新春の帶側陳列會
時　一月十二、十三日
所　弊店階上
銘仙　モスリン
錦紗　御召
御用命下さい
平町
三井吳服店

新築落成
耳、鼻、咽喉科
氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
◆自炊の便あり

X光線科
外科專門
入院隨意（自炊の便あり）
平南町
上田外科醫院
電話一一九

內科
小兒科
皮膚科
花柳科
平町舊城跡（城山）
青沼醫院
醫學士　青沼淡夫
電話四〇三番